

JEITAソフトウェアエンジニアリング技術 ワークショップ2014 ～ウェアラブル時代のシステムデザイン～

- 主催：ソフトウェアエンジニアリング技術専門委員会
- 担当部署：インダストリ・システム部
- 参加者数：約90名

概要

情報システム・ディスプレイ技術調査委員会では、ソフトウェアエンジニアリング技術の革新と新市場の創出に向けた活動を推進していくため、「ソフトウェアエンジニアリング技術専門委員会」を設置し、調査・研究活動を行っております。

本委員会では、今年度の活動の一環として、進化を織り込んだ最適なソフトウェア開発を目指し、現状と課題を整理し、最新の進化に関する研究を実際の開発現場にいかに取り入れるべきかを明らかにしていくために、ソフトウェアエンジニアリング技術ワークショップを開催致しました。

今回は、現在ホットな話題の「ウェアラブル」にフォーカスした。

最初に神戸大学教授の塚本昌彦氏より講演頂き、ウェアラブルデバイスの現状と将来についての解説のほか、求められるシステムデザインについても言及して頂いた。

その後、Human-Centric Computingで新しい人と社会を創るという新たな視点の講演、ウェアラブルとクラウド連携に関する講演に続き、各社の開発事例についても発表を行いました。

最後の拡張ディスカッションでは、ウェアラブルに関する開発環境、理想的な開発手法、エンジニアの育成等について議論をし、活発な意見交換が行われました。

プログラム

- 「ウェアラブルシステムの今とこれから」
塚本 昌彦 氏（神戸大学教授）
- 「そろそろ人もバージョンアップ！」
武 理一郎 氏（株式会社富士通研究所）
- 「ウェアラブルビジネスの可能性を広げるクラウド連携」
最首 英裕 氏（株式会社グルーヴノーツ 代表取締役社長）
- 「霧囲気メガネのUXについて」
白鳥 啓 氏（株式会社Matilde 代表者）
- 「エプソンのスマートグラス開発に見るAR技術について」
津田 敦也 氏（セイコーエプソン株式会社）

